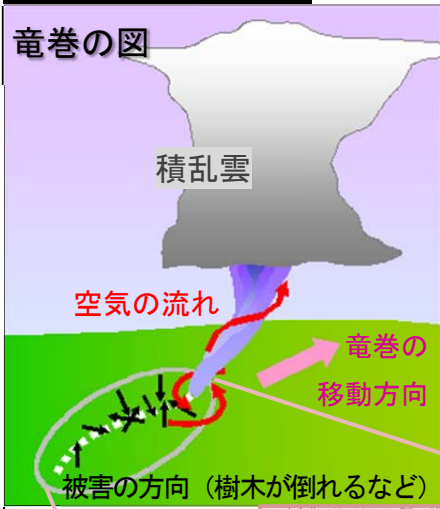


竜巻のナゾにせまる

竜巻の調査

気象台では竜巻などの突風被害がおこると、原因の調査をおこないます

竜巻の図



竜巻がとおった場所では、大きな被害がおこるんだ!



実際の竜巻の移動経路と風向分布(新野ほか、1991)



突風にはダウンバースト、ガストフロントなどいくつかの種類がありますが、そのなかでも一番恐ろしいのは竜巻です。

突風が発生した場所で調査を行っている様子



折れた木の大きさを測っているところ



突然の強い風を突風と呼びます。大雨や「ひょう」をふらせる積乱雲の下では、突風がふいて大きな被害になることがあります。気象台では、突風によるとみられる被害が発生した場合、被害現場に向いて、原因の調査をおこないます。この調査により、どのような突風が発生したのかを明らかにします。



2016年 平成28年 4月5日 火曜日

福岡管区気象台 〒810-0052
防災調査課 福岡市中央区大濠 1-2-36

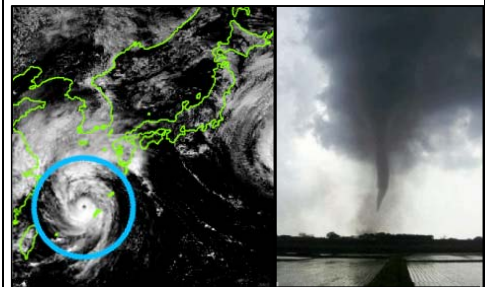
電話 092-725-3614 (記事)
092-725-3600 (天気相談所)

メール fk-kanku@met.kishou.go.jp
(ご意見・ご要望はこちらまで)

「お天気 Q&A」

Q: 台風と竜巻は、何が違いますか?

A: 一番違うのは、大きさです。台風は直径およそ 500km、竜巻は直径およそ 100m。



宇宙から見た台風 (ひまわり8号撮影) 竜巻の写真 (つくば市の住民撮影 共同通信社提供)

発生から、なくなるまでの時間(寿命)は、台風は1週間以上かかりますが、竜巻は数分でなくなります。台風は5日先まで進路の予想がありますが、竜巻は突然発生し、短い時間でなくなるため進路の予想はありません。

気象情報へのアクセス

雨・雪がふっている場所は

ナウキャスト

竜巻などの突風調査

突風調査

積乱雲が近づく3つのサインを見のがすな!

突風のまえぶれ



1. 真っ黒い雲が近づく
2. 雷の音が聞こえる
3. 急につめたい風がふく



3つのサインに気づいたら、じょうぶな建物の中で、身を守りましょう!

注意

- 竜巻が近づくと、いろいろな物が猛スピードで飛んできます。
- 人や車も飛ばされます。じょうぶな建物へひなんしよう!
- 家の中でもガラスが割れたりします。窓やドアから離れましょう!
- 1階の窓のない部屋で身を小さくして頭を守りましょう!



「竜巻の強さ」をあらわす方法

竜巻の強さ(風速)をあらわす時は、「日本版改良藤田スケール」(JEF0~JEF5)を使っています。これは、広く世界で用いられている藤田スケールを、日本の建物などでも正確に使えるように改良したものです。藤田スケールを考案した藤田哲也博士は、福岡県北九州市の出身です。

強さ	風速 (m/s)	被害の一例
JEF0	25~38	自動販売機がたおれる
JEF1	39~52	自動車がたおれる
JEF2	53~66	電柱がおれる
JEF3	67~80	木造の住宅がこわれる
JEF4	81~94	大きい工場などでも屋根がこわれる
JEF5	95~	鉄骨の住宅でもこわれる